

## 令和3年度 学校教育自己診断結果の分析と考察

### 【保護者】

○肯定意見が、80%未満の項目

- ・学校施設、設備の整備
- ・いじめ等への対応
- ・関係機関との連携について

◇学校施設、設備の整備について

大規模改修工事を行った結果、数字は改善しているが、老朽化した箇所がまだ多くあるため、数字としては低くなっている。

◇いじめ等への対応、関係機関との連携について

いじめ等の対応及び関係機関との連携についての項目は、「わからない」の割合が多い。実際の対応がない児童生徒の保護者にとっては、「わからない」と答えざるをえないかと考えられる。

◇質問項目として設定されていないが、感染症対策や感染症対策に伴う学校行事等への記述意見があった。

### 【教職員】

○肯定意見が、80%未満の項目

- ・進路指導について
- ・学校施設、設備、教材、教具の整備
- ・情報システムと機器の整備
- ・情報の周知について
- ・学校運営への意見反映

◇いじめや人権事象への対応について

肯定意見数が向上した。職員研修で、事例について教員間で意見交換するなどの取り組みが意識を高めることになっている。

◇進路指導について

「わからない」の数が多く、進路指導やキャリア教育についての情報交換が必要である。

◇学校施設等の項目について

大規模改修工事があったが、まだ改善されていない箇所が多くあり、数字としては低くなっている。